

100th
SENZOKU
100th Anniversary

SENZOKU GAKUEN 100th ANNIVERSARY プレミアムコンサート

Date&Time

2024年6月1日(土) 開場 15:30 開演 16:00

Place

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

JR南武線「武蔵溝ノ口」駅

東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅
南口下車徒歩8分

Admission Fee

¥2000 全席自由

要予約 (4歳以上入場可)

ピアノ×2+打楽器×2=!!

Player

浦壁信二、吉永哲道、小川佳津子、井手上 達

Program

Béla Bartók / Microcosmos

Maurice Ravel / Ma Mère l'Oye for two pianos and percussions

Béla Bartók / SONATA for two pianos and percussions

予約方法 0601premium78@senzoku.ac.jp までお問い合わせください

www.senzoku-concert.jp

※写真・ビデオの撮影および録音は固くお断りいたします
※駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください
※公演内容は変更になる場合がございます

・主催 洗足学園音楽大学・大学院
・後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

20

Profile



浦壁信二

都立芸術高校音楽科を経て1987年パリ国立高等音楽院に留学。和声・フーガ・伴奏科で1等賞、対位法で2等賞を得る。1994年オルレアン20世紀音楽ピアノコンクールで特別賞ブランシュ・セルヴァを得て優勝。室内楽・伴奏において国内外の多くのアーティストとの共演を果たす一方、CD「水の戯れ〜ラヴェルピアノ作品全集1」「クーブランの暮〜ラヴェルピアノ作品全集2」ではレコード芸術誌の特選、準特選を得るなど好評を得た。現在、洗足学園音楽大学客員教授、東京音楽大学特任教授、ヤマハマスタークラス講師。



吉永哲道

1979年生まれ。ヤマハマスタークラス及び菊重高等学校音楽科を経てモスクワ国立音楽院へ留学。同音楽院本科を卒業、音楽院大学院を修了。第14回アンドラ国際ピアノコンクールにて第5位及び特別賞を受賞。ロシアのピアノリズムを徹底的に学び、「静寂の水面に滴る水のように、彼の音は波紋を広げる。それでいてどんなフォルティシモでも、ピアノシモが聴こえてくる」とも評された演奏は、多くの専門家から高い評価を得ている。ヤマハマスタークラス講師、洗足学園音楽大学非常勤講師、桐朋学園大学大学院嘱託演奏員、愛知ロシア音楽研究会会員。オフィシャルウェブサイト《<https://www.tetsumichi.jp/>》



小川佳津子

東京藝術大学大学院修了。東京都響、東フィル、N響団友オーケストラや番組庁音楽隊などの吹奏楽団とも多数コンチェルトを共演。現代楽曲演奏ユニット「アンサンブル・インタラクティブ・トキオ」「ステラ21」メンバー。都響・札幌・読響等の打楽器エクストラとして活動。11枚のCDをリリース。日本管打楽器コンクール・東京国際マリンバコンクール・吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト審査員。文化事業団の企画制作に携わるなど活動は多岐にわたる。(一社)文楽組アーティスト、マリンバメーカーこおるぎ社及びCANDUSスネアドラムエンドーサー。洗足学園音楽大学大学院、武蔵野音楽大学、尚美学園大学・大学院、各講師。



井手上 達

1999年東京藝術大学卒業。日本管打楽器コンクール4位入賞。尺八、篠笛と打楽器のアンサンブルグループ「Bamboo Symphonia」メンバー。古楽オーケストラ「オルケストラ・アヴァンギャルド」メンバー。2013年から一年間、文化庁新進芸術家海外研修員制度研修員としてベルリンへ派遣されチェーリッヒ音楽大学に在籍。藝大フィルハーモニア管弦楽団ティンパニ・打楽器奏者。洗足学園音楽大学准教授。これまでに打楽器を百瀬和紀、有賀誠門、岡田知之の各氏に、ティンパニをRainer Seegers氏に師事。

